



石川 栄子 議員

なくさないで子育て支援センター 早くなくして待機児童

子育て支援について

議員
常総市の子育て支援センターは、民間で7カ所、公立では第三保育所だけである。民間のモデルとなるよう残すべきなのに廃止すると聞いたが。

保健福祉部長
子ども・子育て会議の中で、民間施設を含め市全体として、検討していきたい。

議員
子育て支援センターは、お母さんたちにとって、子どもの接し方や遊び方、子育てが学べる場となっており、とても大切で必要な場所である。「絶対なくしては困る」という声にどう応えるのか。

市長
子育てをしているお母さん方にとって、この支援センターが果たす役割は大きい。今後、総合的に子ども・子育て会議の皆さんのご意見も踏まえながら全体バランスを考えていきたい。

議員
待機児童・隠れ待機児童は、4月1日の新聞報道よりもかな

り増えている。その対策として第三保育所の子育て支援センターを廃止し、保育室として使うとの提案がされたようだが、部屋が必要なら増築し、そこに正規の保育士さんを配置するのがベストではないか。

保健福祉部長
待機児童は各地区に散在しており、増築することが市全体の待機児童解消の有効策かどうかの判断は難しいと思う。

議員
第三保育所の子育て支援センターの存続と早急な待機児童対策をお願いしたい。これは子育てをするお母さん方にとって喫緊の問題なのである。保育士については、正規での雇用を増やしていくかないと、きちんとした子育ては守れないと思う。



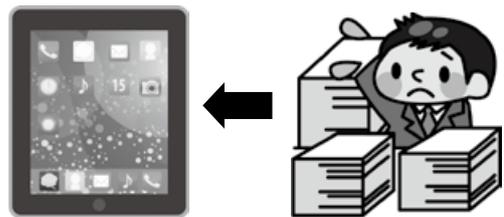
公立の子育て支援センター
(水海道第三保育所内併設)

□ 図 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 図 質 問

紙も積もれば山となる



当市のICT化とペーパーレスについて



大澤 清 議員

議員
庁内ではいろいろな会議等がある中で、それを積み上げていったら、年間で削減できる経費は膨大なものになるかと思う。今後の人口減少により税収が下がり、歳出を抑えていかなければならないのは確実である。ぜひともペーパーレス化を推進していったらいい。

市長
紙媒体に加えて、市の情報源をわかりやすく動画でお伝えしていきたいと考えている。

議員
全庁的にタブレットを導入してはどうか。

議員
タブレットを持ち運びが便利で、職員一人一人に配布することで、災害時にも多いに力を発揮するのではないかと。

企画部長
ペーパーレスについては、介護認定審査会での導入を今年度予定している。

議員
当市のペーパーレスの進捗状況を伺いたい。

企画部長
ペーパーレスにより、どの程度経費が削減できるか。

企画部長
システムの年間経費が約120万円、介護認定審査会にかかる年間経費が185万円、年間65万円の削減が見込まれる。